

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 8号 2007年3月31日発行

2007. 春号

活動報告

3月18日、野焼きを実施しました。

レポート

「阿蘇花野写真展」 in 熊本空港

●2007年度活動スケジュール

●理事リレーエッセイ



3月18日、 野焼きを実施しました。

活動報告



当初の予定通り、3月18日(日)に野焼きを行いました。場所は、昨年、ナショナルトラスト助成金によって取得した本協会の管理地、およそ5ヘクタール。東京ドームと同じくらいの面積です。

2日前の金曜が雨で、心配したのですが、土日と晴れ上がり、枯れ草も乾きました。絶好の野焼き日和です。とはいえ、まだ春先の阿蘇は寒かったですね。吹く風はかなり冷たく、強く、野焼きの炎を目の前にふるえる参加者もいらっしまったようです。

参加したのは、指導していただく地元の方を含めて約50名。かなりの大人数です。なによりも安全第一ですから、7つの班に分かれて班ごとに行動するようにしました。

さて、いよいよ地元の方々が草原に点火していきます。メラメラと燃え広がり、時に風にあおられて10mを超える炎となり、時に白煙をもうもうと上げます。炎が走れば、あっという間に草原を焼きつくし、後には黒々とした焼け野原に青白い煙がたどよう不思議な光景が広がります。

阿蘇の風景や花々は、自然と人の営みの調和、コラボレーションによって生み出されています。野焼きは、そんな大きな阿蘇の風土のシンボルだと言えるでしょう。

草原を走る炎の饗宴というスペクタクルに思わず目を奪われてしまいますが、でもそれだけではありません。踏みしめる阿蘇の大地に生命のうねりのようなものを感じる。この感じは、野焼きに参加した人でなければ味わえませんね。

皆さん、お疲れさまでした。そして、来年もよろしく。



フクジュソウ。
早くも花が咲いていました。



▼野焼き参加者の皆さん。お疲れさまでした。



阿蘇花野写真展 in 熊本空港

本年3月17日(土)から23日(金)の1週間、熊本空港の2F「ふれあい広場」をお借りして、「阿蘇花野写真展」を開催しました。これは、昨年度のナショナルトラスト助成金の助成決定を記念して、当協会が主催、財団法人自然保護助成基金と社団法人日本ナショナルトラスト協会の共催で実施したものです。さらに、JAGDA(日本グラフィックデザイナー協会)熊本支部の協力を得て、「阿蘇の自然」をテーマにしたオリジナルポスターを制作していただきました。おかげでイベントとしてより魅力あるものになったのではないかと思います。もちろん、広場を無償貸与していただいた熊本空港ビルディングの皆様にも感謝感謝です。

展示した写真パネルは約70点。いずれも当協会の会員諸氏の撮影によるもので、美しい写真ぞろい。いずれ、ホームページにて公開しようと考えておりますので、乞うご期待！！



INFORMATION

2007年度の活動予定です！！

本年度の活動予定です。お時間が合う方、ぜひご参加ください。さっそく、4月末には野の花観察会が開催されます。野焼きしたあの草原が、どんな花野に変化していくのか、楽しみですよね。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 4月29日(日) | 第1回阿蘇野の花観察会(フクジュソウ、サクラソウなど) |
| 7月 8日(日) | 第2回阿蘇野の花観察会(ヒメユリ、ハナシノブなど) |
| 8月 5日(日) | 第3回阿蘇野の花観察会(ヤツシロソウ、ツクシトラノオなど) |
| 10月14日(日) | 草刈り作業 |
| 10月21日(日) | 草集め作業 |
| 3月20日(日) | 野焼き |

※上記、いずれの活動についても、会員の皆さんには事前のお知らせをお送りし、参加者を確認した上で実施します。

INFORMATION

ホームページ、リニューアルできました！！

長らくお待たせしました。阿蘇花野協会のホームページが新しくなりました。まだまだ不十分ですが、少しずつ充実させていきたいと考えています。かわいがってください。

asohanano.com

※「阿蘇花野協会」で検索してみてください。たぶん、1番上の方に表示されると思います。

野の花がくれた感動。

理事 稲益親義

忘れられない感動！それは、平成5年7月のことでした。長い間放置され荒れ放題だった原野を、その春、2回目の野焼きをし、どのような効果が現れているだろうか、どのような花が咲いているだろうかと訪ねた花野協会の原野には、文字通り黄色いジュウタンを敷き詰めたように、ユウスゲが一面に咲き誇っていました。

それはそれは、見事な「花野」でした。花の美しさ、その数の多さと共に、野焼きという活動がこれほどまでに効果を表し、野の花に生命力を吹き込んでいることに大きな感動を覚えました。

それまで、阿蘇の草原を歩きながら野の花の写真を撮り、楽しんでいた私は、いわば、他人様の汗の結晶をカメラに収めては楽しんでいただけですが、以来、自分で汗を流した結晶としての野の花を撮る楽しさに気づきました。暑い中の草刈りや草集め、春の野焼きも、その結果として咲き揃う野の花の姿を想像すると苦にはならず、むしろ楽しさを感じるようになりました。

昨年の夏、観察会で訪れた草原には、素人目にもそれとわかる赤い花が目立ちました。草刈りや野焼きによって復活したヒメユリでした。その数、その美しさに大きな感動を覚えたのは決して私だけではなかったと思います。

そういう感動を思い返しながら、今年の野焼きにも皆さんと一緒に参加しました。



▲ユウスゲ

私、花野協会理事です。でも、花の名前は聞かないで!?

理事 丸尾浩文

こんにちは、理事の丸尾です。パソコン関係(おもにMacですが)の仕事をしております関係上、協会のHPの制作や花の写真のデジタル化等を担当しております。

3月18日の野焼きに参加された皆さんお疲れさまでした。今年は寒い上に風が強く煙が目にしみましたねえ。その後の灌木除去作業もかなりの肉体労働で疲れる一日だったのですが、なにかこうリフレッシュして帰ってこれるのが、花野協会の活動のおもしろいところなのかなあと考えております。

ところで表題の件ですが、私はもともと植物に特に興味があったわけではありません。会員の皆さんと同じように観察会の際に、瀬井理事の説明を聞いて花の名前や生態について勉強するわけです。しかし、観察会ではビデオ撮影班の三脚を持たされたり、写真撮影に夢中ではぐれそうになる会員さんを見守るためにいつも最後尾で、いまだ瀬井理事の説明をまともに聞いたことがありません。

というわけで、私に花の名前は聞かないで!

発行



NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0924 熊本市帯山7丁目1番60号 TEL&FAX 050-6620-8306

「花野たより」は年4回発行していく予定です。会員の皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。編集部へのご意見・ご要望、励ましなどはメールでよろしく。

mor7@orange.ocn.ne.jp (広報担当:森)